

エピテーゼを使用した欠損部の修復は QOL 向上支援に有益か

～10年を振り返りアピアランスケアを思考する～

メディカルラボK 萩原圭子

欠損とは口腔内における歯牙だけでなく、私たち人間の皮膚表面など様々な部分に対しても起こりえます。怪我、がん、先天性と要因は様々ですが体の一部が欠損していることで「自分は他人とは違う」、「なぜ自分だけが」と悲観的になってしまう人は少なくありません。がん摘出後の陥没した皮膚、マスクやガーゼで常に覆い隠さなければならない穿孔、あるべきものが無くなってしまった喪失感には耐えがたい苦痛でしょう。

見た目の変化は私たちが思う以上に欠損患者はダメージを受けます。

このような「見た目の変化に悩む患者」に向き合い、心理的なサポートも含み外見のケアを行うことを「アピアランスケア」といいます。

アピアランスケアには様々なケース、方法がありますが、私はエピテーゼという手法で欠損に悩む人々が少しでも前向きに日々の生活を送ってもらえるようサポートしています。今回の福島県歯科技工士会70周年記念講演ではアピアランスケアがいかにメンタルに影響を及ぼすのか過去10年を振り返り症例を交えて紹介します。

メディカルラボK はぎわらけいこ
萩原圭子



【略歴】

- 1999年 埼玉歯科技工士専門学校卒業
 - 同 年 有限会社みずほ歯研勤務
 - 2003年 株式会社萩原歯研勤務
 - 2010年 エピテーゼ、メディカルメイク受講
 - 2011年 株式会社萩原歯研にエピテーゼ製作室・メディカルラボ K を設置
 - 2014年 UCLA 顎顔面補綴科研修
 - 同 年 メディカルラボ K エピテーゼトレーニングスクール開講
 - 2017年 全日本エピテーゼ連盟設立 代表理事
 - 2023年 メディカルラボK 独立開業
- 日本歯科技工士会認定講師、日本顎顔面補綴学会会員、
日本口腔顎顔面技工学会会員